

ガスふろ給湯器

保証書付

パックイン

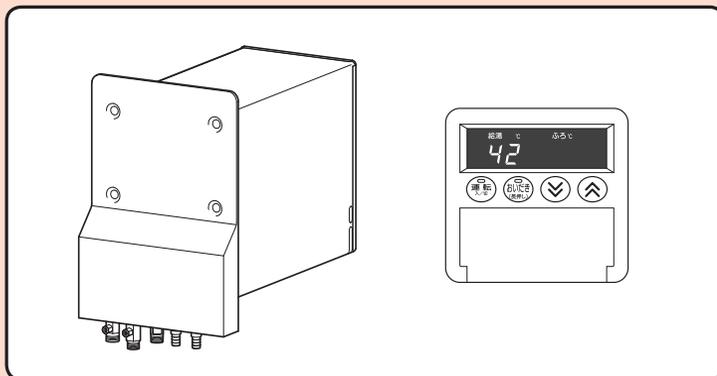
外壁貫通設置形

131-K960型

131-K961型

型式名 WF-806
WF-806L

取扱説明書



ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
この説明書の裏表紙と33ページが保証書になっています。保証書に記載されている保証期間、保証内容などをよくご確認のうえ、大切に保管してください。
なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスへお問い合わせください。

も く じ

はじめに	特長・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1 安全上のご注意・・・・・・・・・・・・・・・・2 各部の名まえとはたらき・・・・・・・・10
使用方法	初めてお使いいただくときは・・・・・・・・15 お湯を使う（温度設定）・・・・・・・・16 おいだき（保温）をする・・・・・・・・18 表示画面のモードを切替える・・・・・・・・20
このようなときは	凍結のおそれがあるとき（凍結予防方法）・・・21 長期間お湯を使用しないとき・・・・・・・・23
必要なときに	点検・お手入れ・・・・・・・・・・・・・・・・24 「あんしん点検」のおすすめ・・・・・・・・26
故障かな？	修理を依頼される前に・・・・・・・・・・27 エラーコード表示がでたら・・・・・・・・29
その他	寸法図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・30 仕様・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・31 アフターサービスについて・・・・・・・・32 保証書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・34

1 おいだしスイッチでお風呂沸かしができます。

浴そうにお湯（または水）をはった状態でおいだしスイッチを押せば、あらかじめ決めておいた湯温でお風呂を沸き上げます。沸き上げ完了から設定した保温時間内なら、お湯がさめれば自動で保温します。

※ 但し、電源投入時または停電復帰後、保温時間の設定は0分（切）です。



2 お好みの給湯温度でお湯が使えます。

リモコンで設定した温度でお湯が出ます。約 37℃～60℃まで設定できます。

主な記号の説明

記号	内 容	記 載 例
	操作の順序を表します。	①
	参照していただきたいページを表します。	14
■	本製品が操作などにより、表示・動作する内容を表します。	■ 運転ランプが点灯します。
●	操作をとまなう、知っておいていただきたいことを表します。	● 一度設定すれば記憶します。
◆	その他の知っておいていただきたいことを表します。	◆ 通常は、節電モードをおすすめします。

■安全に使用していただくための重要な項目ですので、必ずお読みください。
 ■ここに示した事項は、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ずお守りください。

この取扱説明書では、お客さまや近隣の方々への危害や財産への損害を未然に防止するために説明文及び製品の表示では、いろいろな絵表示をしています。表示と意味は次のようになっています。内容をよくご確認ください。

注意表示	意 味
	危険 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
	警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
	注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
お願い	安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容を示しています。

絵表示には次のような意味があります。

絵表示	意 味	絵表示	意 味	絵表示	意 味
	一般的な注意事項		一般的な禁止事項		必ず行う事項
	感電注意		分解禁止		アース接続確認
	高温注意		火気禁止		電源プラグを抜く
			接触禁止		ぬれた手の接触禁止

⚠ 危険

■ガス漏れに気づいたとき

- ① すぐに使用をやめてガス元栓を閉じる。また、メーターガス栓も閉じる。
- ② 窓や戸を開ける。
- ③ お買い求めの販売店またはもよりの大阪ガスへ連絡する。



[ガス栓の例]



必ず行う

- お買い求めの販売店や大阪ガスの係員が処置するまでは絶対にマッチやライター等の使用や、漏電ブレーカーの抜き差し、近くの電気機器（換気扇など）の「入」「切」、周辺の電話を使用しないでください。

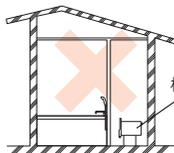
炎や火花で引火し、爆発事故を起こすことがあります。



火気禁止

■屋内に設置しない

- この機器は、屋外用（外壁貫通設置型）です。絶対に屋内に設置しないでください。不完全燃焼による一酸化炭素中毒の原因となり大変危険です。



機器本体



禁止

⚠ 警告

■使用ガスの種類及び使用電源の確認をする

- 機器の銘板に表示してあるガス種及び電源を確かめてください。表示のガス種及び電源が一致しないと不完全燃焼による一酸化炭素中毒や、爆発着火によるやけど、機器が故障する原因となります。
- 転居されたときも、供給ガスの種類と器具銘板のガスの種類の一致を必ず確かめてください。
- ◆ ガスの種類には、都市ガスとLPガスとがあり、都市ガスには、さらにガスグループの区分があります。



必ず行う

メーカー型式	例
設置方式	
ガスの種類及びグループ	都市ガス用 13A12A
ガス消費量	
定格電圧	AC100V
定格消費電力	
定格周波数	50Hz / 60Hz
製造年月日及び製造番号	10.04 - 00001
製造業者名	製造年月 製造番号

⚠ 警告

■機器の設置・移動及び付帯工事はお買い求めの販売店またはもよりの大阪ガスに依頼する

- 不備があると火災、ガス漏れ、感電、水漏れ、故障の原因になります。安全な位置に正しく設置してご使用ください。



必ず行う

■増改築などで機器や排気口を囲わない波板やビニール、塗装時に使用した養生シートなどで囲わない

- 不完全燃焼による一酸化炭素中毒や火災のおそれがあります。



禁止

■ガス接続工事はお買い求めの販売店またはもよりの大阪ガスに依頼する

- この機器のガス接続はねじ接続です。不備があるとガス漏れの原因になります。



必ず行う

■使用中の外出、就寝はしない

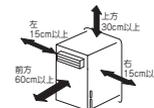
- 思わぬ事故や故障の原因になります。



禁止

■燃えやすい物とは離す（樹木、木材、箱など）

- 木造住宅など可燃壁に取付ける場合は、専用の取付スリーブ（メーカー市販品：WF-SLV）を使用し、10mm以上の離隔距離を確保してください。火災の原因になります。



離隔距離



必ず行う

■機器の周囲に燃えやすいものを置かない（洗濯物、新聞紙、灯油など）

- 引火して火災の原因になります。



禁止

■機器や排気口の周囲にスプレー缶やカセットこんろ用ボンベなどを置かない

- 熱でスプレー缶の圧力が上がり爆発するおそれがあります。



禁止

■機器や排気口の周囲で引火のおそれのある物（スプレー、ガソリン、ベンジンなど）を使用しない

- 引火して火災の原因になります。



禁止

警告

■シャワーなどお湯を使用するときは手で湯温を確認してから使用する

- 最初に熱いお湯が出ることがあります。また高温で使用直後、すぐに再度出湯する場合には熱いお湯が出ることがあります。やけどのおそれがあります。



必ず行う



高温注意

■入浴時には必ず手で湯温を確認してから入浴する

- おいだき中やおいだき後は、浴そうの上部と下部で湯温に差がある場合があります。十分にかきまぜてから手で湯温を確認してください。やけどのおそれがあります。



必ず行う



高温注意

■おいだき時は、循環アダプタに近づかない

- やけどのおそれがあります。



禁止

■子供を浴そう内で遊ばせない

また、浴そうの循環アダプタ付近に潜ったりしない

- おぼれたり、やけどやけがをするおそれがあります。



禁止

■地震、火災などの緊急の場合は、次の手順に従う

- ① 給湯栓を閉める。
- ② 運転スイッチを「切」にする。
- ③ ガス元栓、給水元栓を閉める。



【ガス元栓の例】



【給水元栓の例】



必ず行う

■点火しない場合または、使用中に異常な臭気、異常音、異常な温度を感じた場合、機器が使用中で消火してしまった場合は、ただちに使用を中止し、ガス元栓を閉める

- 「修理を依頼される前に」(27,28 ページ)の項にしたがって処置をする。上記の処置をしても直らない場合は、使用を中止し、お買い求めの販売店またはもよりの大阪ガスに連絡する。



【ガス元栓の例】



必ず行う

警告

■分解・修理・改造は、自分でしない

- 火災、ガス漏れ、感電、水漏れ、故障の原因になります。



分解禁止

■機器本体やガス接続口・排気口に乗ったり、無理な力を加えない

- けがや、機器の変形によるガス漏れ、不完全燃焼のおそれがあります。



禁止

■太陽熱温水器には絶対に接続しない

- ご希望の温度より高い温度のお湯が出てやけどをするおそれがあります。



禁止

■電源コードを破損させたり、加工したり、傷んだまま、束ねたままで使用しない

- 感電や火災の原因になります。



禁止

■漏電ブレーカーは根元まで完全に差し込む

- 差し込みが不完全な場合、感電・発熱による火災の原因になります。傷んだ漏電ブレーカー、緩んだコンセントは使わないでください。



必ず行う

■漏電ブレーカーのほこりなどは定期的に取り除く

- 漏電ブレーカーにほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因となります。漏電ブレーカーを抜き、乾いた布で拭いてください。



必ず行う

■ぬれた手で漏電ブレーカーにさわらない

- 感電のおそれがあります。



ぬれた手の接触禁止

■コンセントの定格を超える使い方をしない

- たこ足配線などで定格を超えると発熱による火災の原因となります。



禁止

⚠ 注意

- 電源コードを引っばって漏電ブレーカーを抜かない
- 電源コードを引っばると破損して感電や火災の原因になります。



禁止

- 給湯時は湯水混合栓のハンドル以外に手を触れない
- やけどのおそれがあります。



高温注意

- 給湯・シャワー・おいだき以外の用途には使用しない
- この機器は、給湯・シャワー・おいだき以外の用途には使用しないでください。思わぬ故障や事故の原因となります。



禁止

- 漏電ブレーカーを抜いて消火しない
- 燃焼中に漏電ブレーカーを抜いて消火しないでください。機器の故障のおそれがあります。



禁止

- 使用中、使用直後は排気口やケーシングに触れない
- 使用中および使用直後は、機器本体の排気口やケーシングは高温になっていますので絶対に手を触れないでください。特に、小さなお子様がいる家庭では、注意してください。



接触禁止

- 給気口や排気口に指や棒を入れない
- 給気口や排気口に指や棒を入れないでください。故障やけがの原因となります。



禁止

- 必ずアースする
- アース線をアース端子に取付けてください。故障や漏電のときに感電するおそれがあります。



アース接続

お願い

- 業務用の用途で使用しない
- この機器は一般家庭用です。業務用には使用しないでください。著しく機器の寿命が縮まります。

- 増改築時には燃焼排ガスが直接建物の外壁や窓・ガラス・網戸・アルミサッシなどに当たらないよう設置する
- 変色・破損・腐食の原因となります。

- 扉などを増設する場合は、機器の点検・修理のための空間を確保し、空気の流れが停滞しないように考慮する
- 扉などと機器との間に十分な空間がないと、機器の点検・修理に支障をきたす場合があります。また、機器の周囲の空気の流れが停滞すると、燃焼不良になるおそれがあります。(機器の点検・修理のための空間については、お問い合わせの販売店またはもよりの大阪ガスへお問い合わせください。)

- 設置場所によっては、近隣の家と騒音によるトラブルが生じることがありますので、十分配慮して設置する

- 使用時の点火、使用後の消火を確認する
- 機器使用時の点火(リモコンの給湯表示部に 🔥 が点灯)、使用後の消火(リモコンの給湯表示部の 🔥 が消灯)を確認してください。

- 硫黄、酸、アルカリや粉末を含んだ入浴剤及び洗剤を使用しない
- 熱交換器が腐食したり駆動部を磨耗させる原因となるものがあります。使用するときは、入浴剤や洗剤のご注意文にしたがってください。

- 浴そう内の循環アダプタをタオルなどでふさがない
- 循環不良となり、ふろのおいだきができません。また、タオルの糸くずが機器に吸い込まれて、故障の原因となります。



禁止

- この機器の付属品・純正部品以外は使用しない
- 機器の異常の原因になることがあります。

- リモコン清掃時に水をかけない
- リモコンは防水タイプになっていますが、入浴中や、お掃除などで故意に水をかけないでください。故障の原因となります。お掃除については24ページの「点検・お手入れ」にしたがって行ってください。



禁止

- リモコンを分解しない
- 思わぬ事故や故障の原因となります。



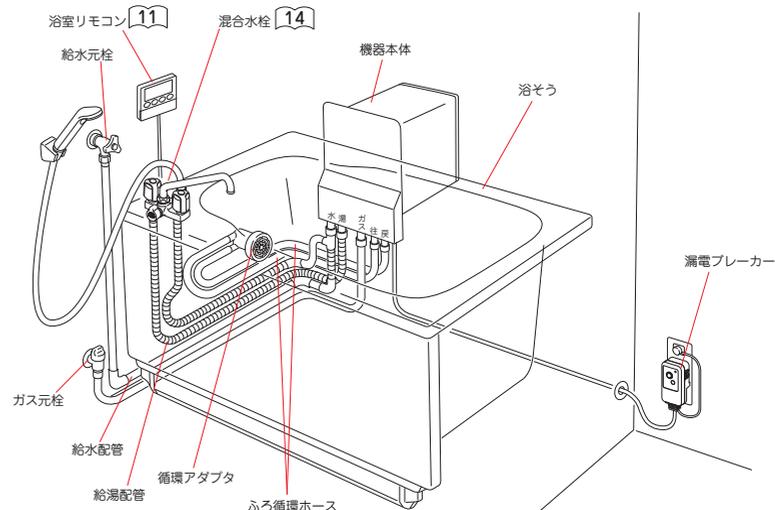
分解禁止

お願い

- 機器や配管内に長期間たまった水は飲用や調理に使用しない**
 - 朝一番などのように長時間たまっていた水は、雑用水としてご使用ください。
- 水道法で定められた飲料水の水質基準に適合しない井戸水、地下水、温泉水で使用しない**
 - 水質によっては本体内の配管内部に異物が付着したり、腐食による水漏れの原因になります。その場合は保証期間内でも修理は有料となります。
- 断水時には運転を停止し、給湯栓を閉める**
 - 給湯栓を開けたままにしておくと、給水が復帰したときに水が流れっぱなしになります。
 - 断水したときは飲用や調理用に適さない水が配管内部にとどまることがあります。
 - 断水復帰後は、蛇口から十分水を流してからご使用ください。
 - 断水復帰後、使い始めのお湯は飲用や調理に使用しない。
- 雷が発生しはじめたら、すみやかに運転を中止して漏電ブレーカーをコンセントから抜く**
 - 故障の原因になります。
 - 雷がやんだ後は、漏電ブレーカーをコンセントに差し込んでください。
- 凍結による破損を防止する**
 - 機器内部の凍結予防は、21,22ページの「凍結のおそれがあるとき(凍結予防方法)」にしたがって予防処置をしてください。凍結すると、水漏れや故障の原因になります。
- 積雪で排気口がふさがれているときは使用しない**
 - 不完全燃焼の原因になります。
- 停電のときのご注意**
 - この機器は電気で作動しますので停電中は使用できません。
 - 停電中は全ての動作を停止します。この場合は蛇口からのお湯は水になりますので、停電復帰まで給湯栓を開めてください。
 - 停電復帰後も自動的に運転されませんので、15~20ページの「使用方法」にしたがって操作してください。
 - 停電復帰後は、設定していた温度、保温時間などが工場出荷時の設定になります。
- 運転スイッチ「切」の状態でお湯側から水を出さない**
 - 機器内通水部分の結露により、故障の原因になることがあります。(シングルレバー式混合水栓の場合は、レバーを完全に水側にセットしてから水を出してください。)
 - ※水を流して凍結予防をする場合は、この限りではありません。
- 運転中(機器燃焼時)のご注意**
 - 機器を使用中は排気ガスが室内に流入しないよう浴室の窓や機器が設置されている近くの窓を開けて使用してください。
- 長期間使用しない場合**
 - 長期間使用しない場合は、凍結及び万一のガス漏れを防止するため23ページの「長期間お湯を使用しないとき」にしたがって処置をしてください。

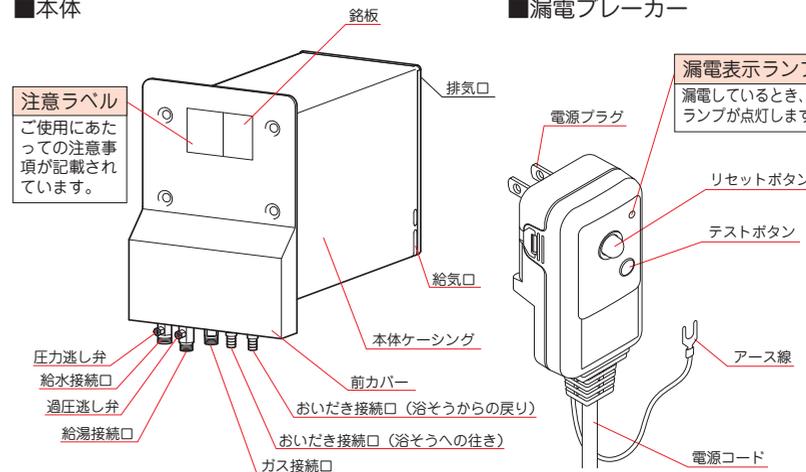
はじめに 各部の名まえとはたらき

■標準設置例



※本図は、浴室のみの配管設置例です。浴室外へ給湯配管をすれば台所や洗面所等でもお湯が使用できます。別売部品の台所リモコン(12)もあります。

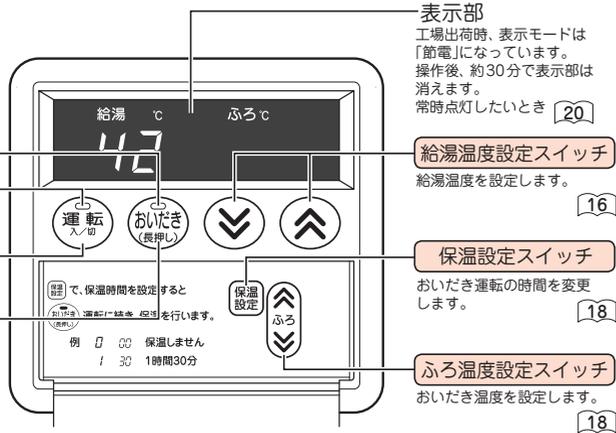
■本体



浴室リモコン

※フタを開けた状態

操作部



表示部

※下記の表示は説明のため全て表示したもので、実際の運転状態とは異なります。



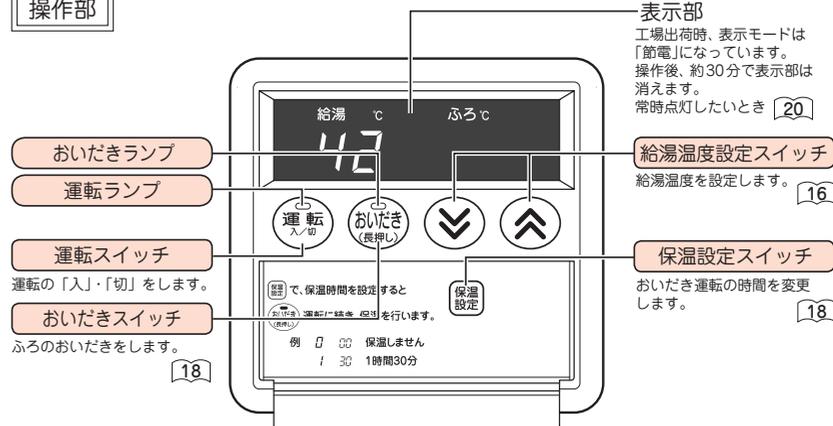
お知らせ

- スイッチを押すと、操作音（ピッ）がしてランプの表示が切替わりますが、手早いスイッチ操作をすると、スイッチが受けつけないことがあります。しっかりと、スイッチを押して、ランプの表示が切替わることを確認してください。
- リモコンフタは開けたままにせず、閉じた状態でご使用ください。

台所リモコン（別売部品 138-K019）

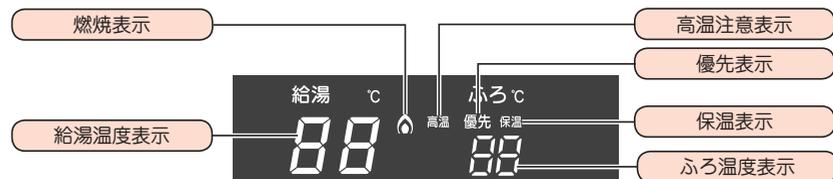
※フタを開けた状態

操作部



表示部

※下記の表示は説明のため全て表示したもので、実際の運転状態とは異なります。



お知らせ

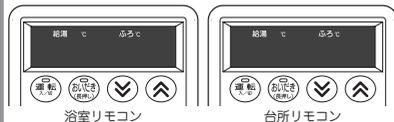
- スイッチを押すと、操作音（ピッ）がしてランプの表示が切替わりますが、手早いスイッチ操作をすると、スイッチが受けつけないことがあります。しっかりと、スイッチを押して、ランプの表示が切替わることを確認してください。
- リモコンフタは開けたままにせず、閉じた状態でご使用ください。

別売部品の台所リモコンと合わせてお使いのときは

- 浴室や台所など機器からお湯を供給するところには、同じ温度のお湯が出ます。
そのため、台所リモコンを接続した場合、給湯温度は「優先」が表示されているリモコンでしか変更できません。(優先権)
使いたいリモコンを「優先」にする場合は次の操作をしてください。
(「運転」スイッチを入れたほうのリモコンが「優先」となります。)

浴室リモコンを「優先」にする場合

運転ランプが消灯しているとき



1 浴室リモコンの「運転」を押す。

- 運転ランプが点灯します。
- 浴室リモコンに「優先」が点灯します。

運転ランプが点灯し、
台所リモコンに「優先」が点灯しているとき

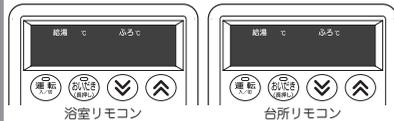


1 浴室リモコンの「運転」を押す。

- 浴室リモコンに「優先」が点灯します。
- このとき、台所リモコンの「優先」は消灯します。

台所リモコンを「優先」にする場合

運転ランプが消灯しているとき



1 台所リモコンの「運転」を押す。

- 運転ランプが点灯します。
- 台所リモコンに「優先」が点灯します。

運転ランプが点灯し、
浴室リモコンに「優先」が点灯しているとき

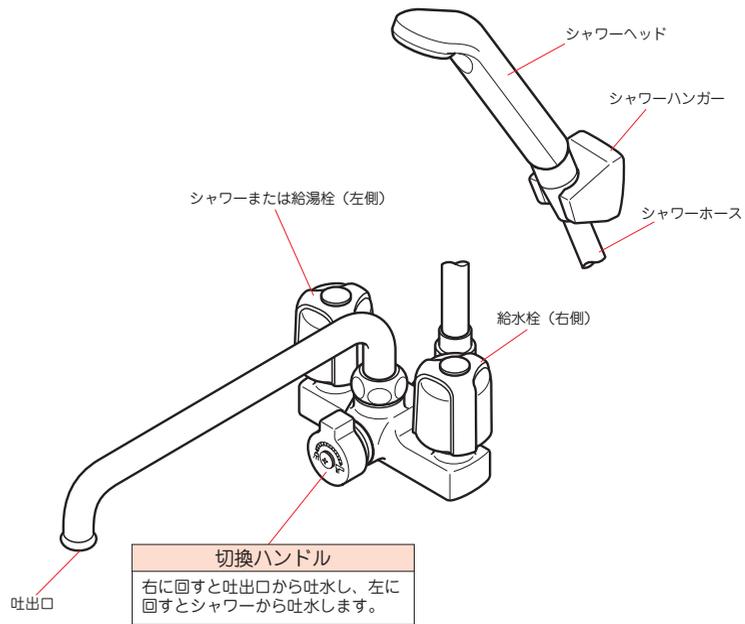


1 台所リモコンの「運転」を押す。

- 運転ランプが消灯します。
- 2 再度、台所リモコンの「運転」を押す。
- 運転ランプが点灯します。
 - 台所リモコンに「優先」が点灯します。
- このとき、浴室リモコンの「優先」は消灯します。

⚠ シャワー等お湯を使用中切替えないでください。

■混合水栓



※ 取扱い及び取付けについては、専用混合水栓に同梱の取扱説明書・浴そうに同梱の取付設置説明書をお読みください。

使用前の準備と確認

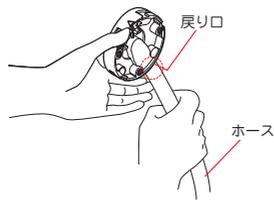
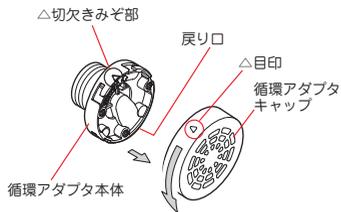
○初めてお使いになるときは、次の準備と確認が必要です。

- 1 給水栓をいっばいに開ける。
- 2 給湯栓、シャワー栓を開けて水が出ることを確認する。
- 3 ガス元栓を全開にする。
- 4 漏電ブレーカーを根元まで確実にコンセントに差し込む。
- 5 アース線をアース端子に取付ける。
- 6 ポンプの呼び水をする。



① 循環アダプタキャップを左へ少し回してから引き外します。

② 循環アダプタ本体の戻り口にホースを押しつけ、約1分間水を入れてください。



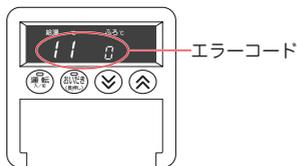
③ 循環アダプタキャップの△目印を△切欠きみぞ部に合わせてはめ込み、右に止まるまで回して固定し、取付けます。

お知らせ

- 停電復帰後、電源投入（再投入）時は、設定していた温度、保温時間などが工場出荷時の設定になります。

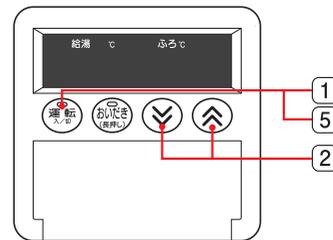
エラーコード 110 が表示したら

- はじめてご使用になるときなどは、ガス配管中に空気が残っていて点火しないことがあります。この場合、リモコンの運転ランプが点滅し、さらに表示部にエラーコード 110 が点滅し不着火をお知らせします。このような場合は、いったん給湯栓またはシャワー栓を閉じ、(運転) を押してエラーを解除し、再度 (運転) を押し、給湯栓を開ける操作を2～3回繰り返してください。



○シャワーや給湯の温度をお好みの温度に設定します。
(工場出荷時の設定は 42℃です。)

- ◆ 浴室リモコン、別売の台所リモコンのどちらでも操作できます。(操作方法は同一です。)



1 (運転) を押す。

- 運転ランプが点灯します。
- 給湯温度が点灯します。

2 (温度下) (温度上) で温度を変更する。

- 温度は次のように設定できます。
37～50℃(1℃刻み)、60℃
60℃に設定すると「高温」が点滅し、高温設定音「ピーピッピッピッ」でお知らせします。
- ◆ スイッチは1回押すたびに、1℃ずつ調節できますが、(温度下) を押し続けると45℃までは連続で変わります。

3 シャワー栓または給湯栓を開ける。

- 燃焼を開始し、(炎) が点灯します。
- しばらくしてお湯が出ます。

お湯を止めたいときは

4 シャワー栓または給湯栓を閉める。

- 燃焼が止まり、(炎) が消灯します。

5 (運転) を押す。

- 運転ランプが消灯します。
- 給湯温度が消灯します。



シャワー・給湯の湯量が少ない(低水压)のときは

- 給水压力が低く、給湯栓を全開にしても十分な湯量が得られない場合は、混合水栓で湯と水をミキシングして使用することをおすすめします。この場合、湯温を60℃に設定して使われることをおすすめします。

◆湯と水をミキシングして使用するとき、湯温調節が難しい場合があります。このとき、給湯栓は全開で固定し、水の量で湯温を調節すると比較的やさしく調節できます。



警告

■やけどに注意する

◆湯温を確認してから使用してください。

■混合水栓使用時のご注意

- ◆高温で使用中は水栓本体が熱くなりますので注意してください。
- ◆高温で使用了後、またすぐに出湯する場合には、熱いお湯がでるおそれがありますので、安全のため水を混ぜて残り湯を流してください。

お知らせ

- ◆お湯の温度は季節や配管の施工状態により異なります。リモコンでの設定は目安としてお使いください。
- ◆一度設定した温度は変更するまで記憶しています。設定した温度が60℃の場合は、を押し(切の状態)、次にを押したとき(入の状態)安全のため42℃に変更されます。
- ◆お湯の使い始めはしばらくの間、配管内の冷たい水がでます。お湯が出るまでの時間は、配管の長さによって異なります。
- ◆水からの沸し直し(おいだき運転)をしているときに、給湯やシャワーを使用するなど給湯能力を超えた場合、十分な湯量や湯温が得られないことがあります。
- ◆夏期など給水温度が30℃近くなりますと、低温に設定しても湯量が少ない場合には湯温が熱くなります。このような場合には、給湯栓をさらに開けて湯量を多く出すが、混合水栓の給水栓を開けて湯と水を混ぜて使用してください。
- ◆おいだき(保温)後にお湯を使った場合、おいだきの燃焼であたためられた機器内の水を出す間、しばらく燃焼しないことがあります。
- ◆トイレの水を流したりし、給水压が変化した場合、一時的に湯温が変動することがあります。
- ◆**優先** が点灯しているリモコンでお湯の温度調節ができます。使いたいリモコンを **優先** にする場合は、を参照してください。
- ◆浴室リモコンのみでご使用の場合は **優先** は点灯しません。

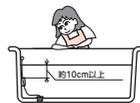
使用方法 おいだき(保温)をする

- 水やぬるくなったお湯を設定温度になるようおいだき運転を行います。(工場出荷時の設定は40℃です。)

運転前の準備と確認

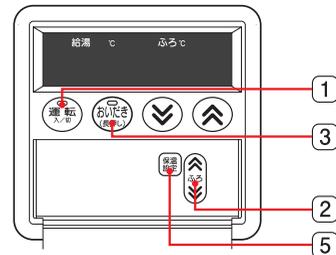
1

浴そうにお湯(水)が入っていることを確認します。



2

浴そうにふたをします。



1

を押す。

- 運転ランプが点灯します。
- 給湯温度が点灯します。

2

でふろ温度を変更する。

- ふろ温度が点灯します。
- 温度は次のように設定できます。37～48℃(1℃刻み)
- ◆スイッチは1回押すたびに、1℃ずつ調節できますが、 を押し続けると45℃までは連続で変わります。
- ◆ふろ温度の変更は、浴室リモコンのみ操作できます。

3

を長押しする。

- おいだきランプが点灯します。
- 燃焼を開始し、 が点灯します。
- 浴そう内のお湯(または水)が循環し、おいだき運転が始めます。

4

沸き上がると自動でストップ。

- 途中でやめるときは、もう一度 または を押す。
- 「ピーピーピー」音が鳴り、燃焼を停止します。
- 表示部の が消灯します。



使用方法 表示画面のモードを切替える

○保温時間を設定すると、お湯が冷めると設定した時間中、保温運転を行い、設定温度までおいだき運転を行います。

(工場出荷時の設定は0分(切)です。保温運転は行いません。)

5 2の後、保温設定を押して保温時間を設定する。

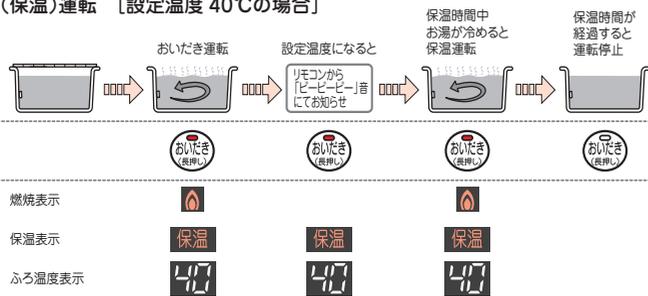
- 表示部に保温時間が点灯し、保温が点滅します。
- ◆**保温**を押さずに5秒間操作しないと、音「ピッ」でお知らせし、元の表示に戻ります。
- 保温**を1回押すたびに時間が次のようになります。



- 最後に**保温**を押した後、約5秒後設定音「ピッピッピッ」でお知らせし**保温**が3秒間点灯します。



おいだき(保温)運転 [設定温度 40℃の場合]



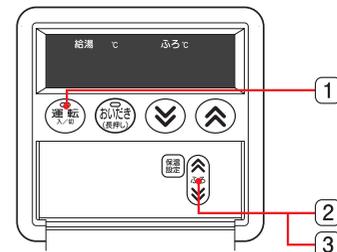
- ◆保温点灯中に**保温**を押すと、保温運転の残り時間を表示します。
 - ◆おいだきランプ点灯中**おいだき(点灯し)**に2の操作を行うと、風呂温度を変更することができます。
- おいだきランプが消灯**おいだき(点灯し)**しているとき、浴そうの湯温が低い(ぬるい)場合は、2 3の操作をしてください。

お知らせ

- ◆一度設定した温度は変更するまで記憶しています。一時的に温度を上げた場合など、戻し忘れないよう注意してください。
- ◆約20分ごとに機器本体内のポンプが作動し湯温を検知し、設定温度より湯温が下がっていると自動的に設定温度までおいだきします。このとき、表示部に**点灯**が点灯します。
- ◆おいだき(保温)をする場合、風呂温度を浴そうの湯温より低めに設定しても浴そうの湯温はそのままです。この場合、一時的に機器本体内のポンプが作動し燃焼することがありますが、異常ではありません。
- ◆浴そうの残り湯が循環アダプタよりも上にならない場合は保温運転を行いません。

○運転入り状態表示画面のモードを節電モード⇄常時点灯モードに切替えることができます。

(工場出荷時の設定は節電モードです。)



1 **運転入り**を押す。

- 運転ランプが点灯します。
- 給湯温度が表示します。



2 **風呂**の上下を同時に約3秒間押す。

- 切替え音「ピッピッピッ」でお知らせします。
- 節電モードから常時点灯モードに切替わります。
- 給湯温度が常時点灯します。



3 もう一度節電モードにする場合は、**風呂**の上下を同時に約3秒間押す。

- 切替え音「ピッピッピッ」でお知らせします。
- 常時点灯モードから節電モードに切替わります。
- すぐに給湯温度が消灯します。



お知らせ

- ◆通常は、節電モードをおすすめします。
- ◆節電モードでは、30分間操作しないと画面表示が消灯します。消灯中にお湯を使ったり、スイッチを押すと点灯します。
- ◆電源投入時または停電復帰時は節電モードになります。
- ◆台所リモコンをお使いの場合は、台所リモコンの表示モードも変更されます。
- ◆節電モードでも給湯設定温度が60℃に設定されている場合、安全のため画面表示は消灯しません。

凍結のおそれがあるとき(凍結予防方法)

○冬期は寒冷地だけでなく暖かい地方でも、急な寒波による凍結がおこることがあります。

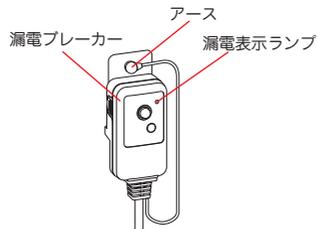
次のいずれかの方法で予防処置をとってください。

1. 通常の寒さのときの予防方法

凍結予防ヒーターによる方法

漏電ブレーカーを抜かない

- ◆ 抜けていると凍結予防ヒーターが作動しません。
- ◆ 漏電ブレーカーの漏電表示ランプが点灯している場合は凍結予防ヒーターが作動しません。
- ◆ 漏電している可能性もありますのでリセットボタンを押して確認してください。[25]



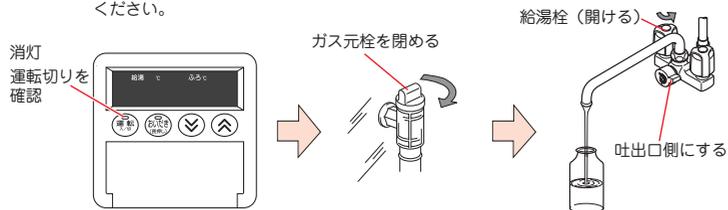
お知らせ

- ◆ この機器は気温が下がってくると自動的に機器内を保温し凍結を予防するヒーターが組まれています。通常は、漏電ブレーカーをコンセントに入れた状態にしておけば機器内の凍結は予防できます。
- ◆ 凍結予防ヒーターは、リモコンのスイッチ操作に関係なく働きます。
- ◆ ヒーターで凍結を予防できる気温の条件は、無風時-15℃まで、有風(4 m/秒)時-10℃までです。気温がこれ以下になる時は、通水による方法や水抜き処置によって、凍結予防をしてください。
- ◆ ヒーターは、機器内の保温はしますが、配管やバルブ類の凍結予防はできません。
- ◆ この機器は外気温が-15℃以下になる場合には、凍結予防のために水抜き処置が必要です。[23]

2. 冷え込みの厳しいときの予防方法

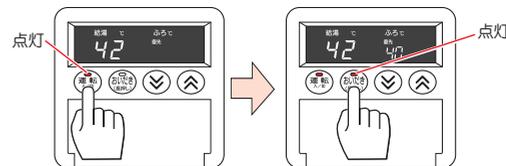
通水による方法(給湯側)

- ① リモコンが運転「切」(運転ランプ消灯)になっていることを確認する。
- ② ガス元栓を開める。
- ③ おふる場の給湯栓を開けて、1分間に400cc(牛乳びん2本分)ぐらいの水を浴そうに流し込む。
 - ◆ 流量が不安定なことがありますので、念のため30分ぐらい後にもう一度流量を確認してください。

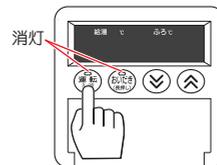


ポンプの水抜きによる方法(おいだき側)

- ① 浴そうの水を排水する。
- ② 点灯(点灯)を押す(「入」の状態)、点灯を押す。
 - ◆ 循環アダプタから水を排出します。このときポンプの音が大きくなりますが、ふる循環ホース内の水を排水していますので異常ではありません。



- ③ 循環アダプタから水の排出が無くなったなら 点灯(点灯)を押す(「切」の状態)。



- ◆ 水の排出が無くなるとエラーコード 252 を点滅表示することがありますが、異常ではありません。
- ◆ 点灯(点灯)を押してください。

※ これらの処置をしても凍結するおそれがある場合は、水抜き [23] [長期間お湯を使用しないとき] を行ってください。

お知らせ

- ◆ 凍結により、給湯栓・シャワー栓・循環アダプタから水が出ないときは、使用しないでください。
- ◆ 凍結したままで使用しますと、機器に異常が生じ危険です。
- ◆ 再度使用する場合は、ガス元栓、給湯・シャワー栓を開め、解凍するのを待ちます。解凍して、通水したあと、本体や配管から水漏れがないことを確かめてからご使用ください。
- ◆ 凍結により、機器が破損した場合、高額な修理費用がかかります。(有料)
- ◆ 万一、機器や配管から水漏れるなどの異常がある場合は、ガス元栓、給湯元栓を開め、浴そうの排水栓を抜いてから、お買い求めの販売店またはもよりの大阪ガスへご連絡ください。

このようなときは 長期間お湯を使用しないとき

○長期間使用しない場合は次の操作をしてください。

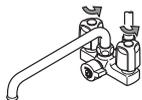
① ガス元栓を閉じる。



② 給水元栓を閉じる。



③ 給水栓、給湯栓を開ける。

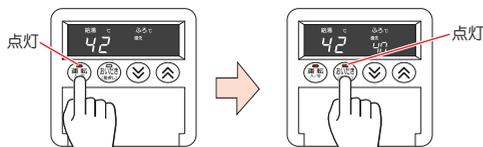


④ 水抜き栓を外し、配管内の水が抜けたら元通りにする。
(給水、給湯配管に水抜き栓がある場合)

⑤ 浴そうの水を排水する。

⑥ を押し(「入」の状態)、 を押す。

◆循環アダプタから水を排出します。このときポンプの音が大きくなりますが、ふる循環ホース内の水を排水していますので異常ではありません。



⑦ 循環アダプタから水の排出が無くなったら を押し(「切」の状態)。

◆水の排出が無くなるとエラーコード 252 を点滅表示することがありますが、異常ではありません。

を押してください。



⑧ 漏電ブレーカーをコンセントから抜く。



●再使用については「初めてお使いいただくときは」[15](#)にしたがってください。

必要なときに 点検・お手入れ

⚠ 注意

- お手入れの前には、ガス元栓・給水元栓を閉め、機器が冷えてから行う
 - 機器使用中および使用終了直後は、排気口や機器本体が高温になっていますので、やけどするおそれがあります。



高温注意

- 機器やリモコンは、絶対に分解しない
 - 火災、ガス漏れ、感電、水漏れ、故障の原因になります。



分解禁止

点検のポイント

- 機器の上やまわりに燃えやすいものはありませんか。[4](#)
- 給気口・排気口が布やビニールなどでふさがっていませんか。
- 機器や配管から水漏れしているような様子はありますか。
- ガスのおいはしませんか。[3](#) ガス漏れに気づいたとき
- 運転中に機器から異常音が聞こえませんか。[5](#)
- 機器の外観に異常は見られませんか。
- 漏電ブレーカーの漏電表示ランプが点灯していませんか。[25](#) 漏電ブレーカーの点検

チェック!



お願い

機器外観やリモコンのお掃除をされる時は、布またはスポンジに台所用洗剤(中性洗剤)をつけて拭きとったあと、からぶきます。

- ◆ ミガキ粉やタワフンなど固いものでこすらないでください。傷がついて、塗装がはがれたり腐食の原因になります。
- ◆ シンナー・ベンジンなどの有機溶剤を使用しないでください。前カバー、リモコン等は変色、変形、塗装のはがれのおそれがあります。
- ◆ リモコンケースには故意に湯水や洗剤をかけないでください。リモコンの故障の原因になります。
- ◆ 循環アダプタのお手入れには、塩素系洗剤は使用しないでください。変色、変形のおそれがあります。



禁止

- ◆ 浴そう、洗面台はこまめに掃除してください。湯あかが残っていると、銅イオンと化合して青く変色することがあります。

■漏電ブレーカーの点検

●漏電ブレーカーが正しく作動することを確認するため、次の操作を行ってください。

- ① テストボタンを押します。→漏電表示ランプが点灯します。
- ② リセットボタンを押します。→漏電表示ランプが消灯します。

●月に1回以上の作動確認を行ってください。

※正しく作動しないときは、機器の使用を止め、漏電ブレーカーを抜いて、お買い求めの販売店またはもよりの大阪ガスへご連絡ください。

※点検の前に漏電表示ランプが点灯しているときは、リセットボタンを押してください。

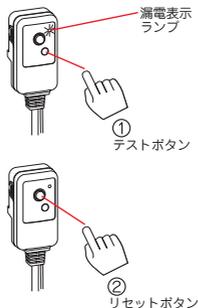
再び漏電表示ランプが点灯するようでしたら漏電ブレーカーを抜き、お買い求めの販売店またはもよりの大阪ガスへご連絡ください。

※作動確認後は設定していた温度、保温時間、画面表示などが工場出荷時の設定になります。

- ・給湯温度 42℃ ・おひだき(保温)温度 40℃ ・保温時間 0分
- ・画面表示 節電モード



必ず行う



■循環アダプタのお手入れ

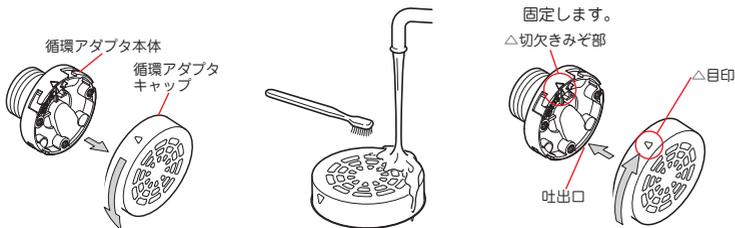
●循環アダプタの汚れや詰まりのお掃除は、循環アダプタキャップを取外して水で洗います。

●循環アダプタキャップが目づまりしたまま使用するとおひだき(保温)運転が正常に動作しなかったり、故障の原因になりますので、以下の方法で必ずこまめに掃除してください。



必ず行う

- ① 循環アダプタキャップを左へ少し回してから引き外します。
- ② 循環アダプタキャップを歯ブラシ等で水洗いします。
- ③ 循環アダプタキャップの△目印を△切欠きみぞ部に合わせてはめ込み、右に止まるまで回して固定します。



お知らせ

●循環アダプタキャップは必ず正常に取付けて使用してください。外したままや、正常に取付けられていない状態で使用しますと故障の原因になります。

本製品は、ご使用開始から10年前後をめどに「あんしん点検」(有料・任意点検)をお受けいただくことをおすすめいたします。

あんしん点検について

【点検の内容について】

- ・あんしん点検は、お客さまの任意で受けていただく有料の点検です。(法定点検ではありません)
- ・あんしん点検は、点検時点での製品の安全を確認するためのもので、製品の延命や性能の保証を延長するものではありません
- ・点検の実施は、大阪ガスまたは大阪ガスが委託した事業者が行います。
- ・点検の内容および点検基準は、「経済産業省関係特定保守製品に関する省令」に定められた法定点検の内容、基準を参考に、当社で設定しています。
- (例：製品の設置状況の確認、作動確認、内部の漏れ、詰まり、変色、性能確認など)
- ・点検の結果は、「点検作業票」にてお知らせします。点検の結果、何らかの整備(修理・部品の交換など)が必要な場合には、整備内容についてご提案させていただき、お客さまにご了解をいただいた上で行います。

【点検料金および点検の依頼先について】

- ・点検は有料で実施させていただきます。また点検の結果、整備を実施する場合は、別途整備費が発生いたします。
- なお、あんしん点検の内容や料金などにつきましては、下記のアドレスからご覧いただけます。
<http://www.osakagas.co.jp/>
- インターネットでご確認できない場合は、33ページに記載の「大阪ガスのお問い合わせ先」にご連絡ください。

【点検を依頼される時】

- ・点検のお申し込みは販売店または、もよりの大阪ガスへ依頼ください。

点検の時期について

本製品は、設計上の標準使用期間※を10年と算定しておりますので、ご使用開始から10年前後をめどに「あんしん点検」をお受けいただくことをおすすめいたします。

※設計上の標準使用期間とは、標準的な使用条件の下で、適切な取り扱いで使用し、適切な維持管理が行われた場合に、安全上支障なく使用することができる標準的な期間として設計上設定される期間になります。「無料修理保証期間」とは異なりますのでご注意ください(無料修理保証期間は保証書を参照願います)。

次のことをご確認ください

現象	お調べいただきたいこと
リモコンのスイッチを押しても表示ランプが点灯しない	<ul style="list-style-type: none"> ●漏電ブレーカーがコンセントに差し込まれていますか。 ●漏電ブレーカーの漏電表示ランプが点灯していませんか。〔25〕 ●停電していませんか。
給湯栓を開けてもお湯が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ●ガス元栓が全開になっていますか。 ●給水元栓が全開になっていますか。 ●断水ではありませんか。 ●リモコンの「運転」スイッチを押しましたか。 ●凍結していませんか。〔21〕、〔22〕
あつのお湯が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ●リモコンの給湯温度設定が低くなっていませんか。 ●ガス元栓が全開になっていますか。 ●給湯またはシャワーを2ヶ所でも同時使用されていませんか。
ぬるいお湯が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ●リモコンの給湯温度設定が高くなっていませんか。 ●水量を絞りすぎていませんか。(夏期) ●給水元栓が全開になっていますか。
お湯が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ●浴そうの水(湯)が循環アダプタより上にありますか。 ●呼び水をしましたか。〔15〕
お湯がすぐ消火してしまう	<ul style="list-style-type: none"> ●お湯温度設定が低くなっていませんか。 ●循環アダプタキャップがはずれていませんか。〔25〕 ●循環アダプタキャップの向きは、正しいですか。〔25〕
浴そうの上下の温度差が大きい	<ul style="list-style-type: none"> ●循環アダプタキャップの向きは正しいですか。〔25〕 ●循環アダプタキャップが目詰りしていませんか。〔25〕
設定した温度が記憶されていない	<ul style="list-style-type: none"> ●停電が起きていませんか。 ※ 1秒以上の停電が発生した場合、設定していた温度、保温時間などが工場出荷時の設定になります。〔25〕

次のような場合は故障ではありません

こんな場合	理由
給湯栓を開いてもすぐにお湯が出てこない。	機器から給湯栓までは距離がありますので、お湯が出てくるまでには、少し時間がかかります。
お湯の出を止めてもしばらく音がする。	消火後7分間は燃焼ファンを回転させて、燃焼ガスを排出します。
おいだきが終了してもしばらく音がする。	消火後20秒間はポンプを回転させて、お風呂のお湯をかくはんしています。
寒い日に排気口から白い湯気が出る	寒さにより排気口の中の水蒸気が白く見える現象で、異常ではありません。
高温出湯にすると、お湯が白くなる。	水には空気が含まれていて加熱されると気泡となって現われるためのものです。異常ではありません。
おいだきを始めると循環アダプタからポコポコ音がして泡が出る。	おいだき配管の中にたまっていた空気が押し出されるためのもので、しばらくすると出なくなります。
給湯栓を絞りすぎて水(熱い湯)になった。	給湯栓、シャワー栓を絞りすぎる(約2L/分以下)と消火します。また、熱いお湯が出たり、消火したり、を繰り返すことがあります。
ぬるいお湯が出ない。	夏期など給水温度が30℃近くなりますと、低温に設定しても湯量が少ない場合には湯温が熱くなります。このような場合には、給湯栓をさらに開けて湯量を多く出すか、混合水栓の給水栓を開けて湯と水を混ぜて使用してください。
あつのお湯が出ない。	冬期など給水温度が低いときに60℃設定しますと、設定温度どりのお湯が出ない場合があります。水からの沸し直し(おいだき運転)をしているときに、給湯やシャワーを使用するなど給湯能力を超えた場合、十分な湯量や湯温が得られないことがあります。
給湯量が変化する。	給水温度の変化に応じて、給湯量を自動的に制御しています。夏期は給湯量が多く、冬期は少なくなりますが、異常ではありません。
お湯を使うと循環アダプタから少量の水が出る。	おいだき配管内の空気が膨張して水が押し出されるためのもので、異常ではありません。
お湯を出しても、  が点灯しない(しばらくして点灯する)	おいだき(保温)後にお湯を使った場合、おいだきの燃焼であたためられた機器内の水を出す間、しばらく燃焼しないことがあります。

■ 仕様表

項 目		仕 様	
外形寸法（本体）		幅 286 × 高さ 461 × 奥行 510mm (820mm)	
壁貫通部寸法		幅 228 × 高さ 332 × 奥行 460mm (770mm)	
質量（本体）		16 kg (19kg)	
接続寸法	ガ ス	R1/2 (LPGのみTU接続可)	
	給水・給湯	G1/2B	
	ふろ循環	φ 14mm 専用継手	
標準ガス消費量 kW	ガ ス 質	13A	LP
	給 湯 最 大	18.5 (15,900kcal/h)	18.5 (1.33kg/h)
		5.8 (5,000kcal/h)	5.8 (0.42kg/h)
	ふ ろ 同 時 (最大)	12.0 (10,300kcal/h)	12.0 (0.86kg/h)
		21.0 (18,000kcal/h)	21.0 (1.50kg/h)
電気定格	電 源	AC100V (50 / 60Hz)	
	消 費 電 力	60 W	
	凍結予防ヒーター	64 W	
最低作動水圧		19.6 kPa (0.2kgf/cm ²)	
使用水圧		53.9 (動水圧) ~ 78.4kPa (0.55 ~ 8kgf/cm ²)	
制御システム	給 湯	フィードフォワード+フィードバック式ガス比例制御	
	ふ ろ	温度設定沸上げ (37 ~ 48°C)、(給湯比例制御追従式)	
	ファン制御	DC ファンによる回転数制御	
排 気 温 度		260°C以下	
安 全 装 置		・立消え安全装置 ・過熱防止装置 ・ファン回転検知 ・沸騰防止装置 ・漏電ブレーカー ・過圧逃し弁 ・残火安全装置 ・凍結予防用ヒーター	

※ () の数値は 131-K961 の寸法、質量です。
 ※ 131-K961 はガス質 13A のみです。

■ 出湯能力

ガ ス 種	標準号数 (号)		温度上昇と標準出湯量 (リットル/分)				
			水温+15°C	水温+25°C	水温+30°C	水温+40°C	水温+50°C
13A,LP	能力大	8.5	14.2	8.5	7.1	5.3	4.3
	能力小	2.5	4.1	2.5	-	-	-

上記数値は計算値です。

アフターサービスのお申し込み

●アフターサービス（点検・修理）を依頼される前に「修理を依頼される前に」[\[27\]](#)、[\[28\]](#)を見て、もう一度ご確認ください。

それでも不具合がある場合は、ご自分で修理なさらないで買い求めの販売店またはもよりの大阪ガスへご連絡ください。

ご連絡の際には次のことをお知らせください。

1. 品 名・・・ガスふる給湯器パックイン
2. 大阪ガス商品コード・・・器具の前面上部に貼付してあります
3. 故障、異常の現象、エラーコード・・・できるだけ詳しく
4. お客様名、住所、電話番号、道順

例)

(N) 131-K960
大阪ガス株式会社

転居される場合

●ガスの種類の異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先の方のガスの種類を確認の上、買い求めの販売店またはもよりの大阪ガスにご相談ください。

この場合、調整・改造に要する費用は、保証期間内でも有料となります。ただし、ガスの種類や電源の周波数によっては調整できない場合もあります。

保証・補修について

●保証期間中の故障修理について

保証書に記載のように、機器の故障について修理いたします。

保証書を紛失されますと、保証期間中であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書（保証書付）を大切に保管してください。

●保証期間経過後の故障修理について

買い求めの販売店またはもよりの大阪ガスにご相談ください。

修理によって機能が維持できる場合は、お客様の要望により有料修理いたします。

この製品の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打切後 10 年間です。

ただし、当製品製造打切後 10 年経過後であっても補修用性能部品の在庫がある場合は、有料修理いたします。

定期点検のおすすめ（有料）

●ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心して長くご使用いただくために、年 1 回程度の定期点検をおすすめします。